

原町山遊倶楽部の皆さんへ

2011年3月11日午後、未曾有の大地震が発生、津波による大被害が発生したわけですが、これは天災として甘受しても、原発事故は人災以外の何者でなく、情報隠蔽、責任不在・・・、今の日本を象徴する大問題だと思えます。

とはいうものの・・・、行政の対応は「のらりくらり」です。朝日新聞朝刊に「プロメテウスの罠」という原発問題を取り上げた連載記事があります。今日3月8日は、「のらりくらりですよ」という惹句がついていて、2001年9月経済産業省と電気料金値下げ交渉に際しての経産省側の対応に、値下げを申し入れた日本ボランティアチェーン協会々長、林信太郎氏が噛みついた言葉として紹介されていました。

戦後67年、敗戦のドン底から「ジャパン・アズ・ナンバー・ワン」にまで昇り詰めるパワーとフレキシビリティがあった日本社会も、経年劣化で失速してしまったかの感があります。我々一般庶民が元気をなくし、グズグズしている隙につけ込まれて、行政、即ち「お上」は権力を増大させていったように思えてなりません。一般庶民をないがしろにする、情報隠蔽、責任不在・・・です。大問題だと思えますが、お上に対してぼくたちになにができるか・・・。非力なぼくたちではありますが、一つできることがあります。それはぼくたち一人ひとりが、思いっきり元気になることです。

小山さんからもお手紙頂いていますが、皆さんのご苦労は想像できても、東京でのほほんと暮らしているぼくらには実感できません。できることは、ご苦労を軽減するお手伝いくらいだと思っています。ぼくにできることは、山登りへのお誘い、です。

「山に登れば元気になります」とは、ぼくの持論。経年劣化している頭は、過剰な情報でいっぱいだから、新しい発想など生まれようがないし、責任ある判断を下せるはずもない。ニッポンの元気がなくなるのは必然だと思えます。まず、やらねばならないことは頭を空にすること。頭が空になれば、頭は働き始めますから新しい発想が生まれ、自分自身の存在に気が付いて、誰もが元気になるはずです。頭を空にする最良の方法は、山に登ること。日本中のみんなが山に登って元気になれば、それはニッポンの元気にほかなりません。日本中のみんなを山に引っ張りだすべく、「一億二千万人総登山者化計画」なんてこと考えました。ご協力よろしくお願ひします。

ぼくたち一人ひとりが元気になって、その元気を「お上」にぶつけましょう。ぼくたちが元気になって、「ノー」をぶつければ、いつまでも情報隠蔽、責任不在でいられるはずがありません。原町山遊倶楽部の皆さんが、山に登って元気になって見せることが、原発問題で元気を見失っている方々に元気を取り戻して貰う、最良の方法ではないかと思えます。そのためにできるお手伝いはさせて頂きます。頑張ってください。

楽しく・生きなきゃ・つまらない、です。